

## 第 23 回：最も先進的

会長 田中 仙堂

教壇から先生が一方に話していた授業という形式が、先生から与えられた課題を生徒同士で相談するという対話型に変わっていきます。このことは、茶道を習う人の態度の変化にもつながっていきますので、「私は学校で教えていない」という方にも無関係ではありません。特に誰にも教えていないという方にとっても、これからの世代と意思疎通をするためには、無駄にならない知識だと考えています。

夏の学校茶道特別研修会、学校茶道資格者研修会では、今年の3月に公布された学習指導要領の改正には、私たちにも注意しなければいけないことがある点をお伝えしました。この指導要領の改正に対する説明は、学校の先生に対して、この夏に行われています。研修会に参加された方は、場合によっては、学校の先生よりも早く説明を受けた可能性があります。ミッションに掲げた「最も先進的」という言葉に相当することを行っていると申しあげても良いかと考えています。

なにも、「最も先進的」と掲げたからといって、無理に先進的であろう、なければいけないと執着するとおかしなことになりそうです。茶道を普及するにはどうすればよいか、という根本の問題から目をそらさず、試みを模索していけば、時には先進的と評価してもらえる試みも出てくると今後も考えていきます。

平成 29 年 11 月発行 会報「えんじゅ 93 号」掲載